

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 57

東北森林管理局

取組名	国有林材の安定供給システムによる資材の供給
流域名	宮城南部流域
森林管理署名	仙台森林管理署
実施箇所及び実施日	①平成23年5月20日 石巻市（第1回） ②平成23年7月25日 石巻市（第2回） ③平成23年11月2日 石巻市（第3回）
取組の背景及び必要性	安定的な資材調達のため、引き続きシステム販売による国有林材の安定供給の要望がある。
取組の内容	「国有林材の安定供給システムによる販売協定」に基づいた、平成23年度の供給量は、素材で低質材を（有）米澤製材に400m ³ 、合板用材としてセイホク（株）に750m ³ 供給した。この実績を踏まえ、24年度においても木材産業関係者の安定的・計画的な事業運営が図られるようシステムを活用した資材の安定供給に寄与した。また、東日本大震災の復興のために木材を供給した。 ①～③は、合板用県産材の供給等に関する調整会議
国有林担当部局・役割	協定締結による国有林材の安定供給。
連携協働相手先・役割	安定確保による販路の拡大、有利販売。
取組の結果、反響、今後の課題等	安定的な木材の供給により、今後も期待が一層高まった。
PRの実施状況及びその期待する効果	関係諸団体が出席する各種会議等を通じて周知する。 木材産業関係者の安定的・計画的な事業運営を通じて、地域振興と木材需要の確保。

【参考資料】

取 組 名 国有林材の安定供給システムによる資材の供給

合板用県産材の供給等に関する調整会議の開催状況



平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 58

東北森林管理局

取組名	木質バイオマス資源の利用に向けた取組
流域名	宮城南部流域
森林管理署名	仙台森林管理署
実施箇所及び実施日	①亘理町農家 平成23年6月14日
取組の背景及び必要性	木質バイオマスの利用については、パーティクルボード、ファイバーボードなどの木質系材料での利用とともに、石炭火力発電所における混合利用やボイラー等の熱・エネルギー利用により、未利用木質資源の総合的な利用促進が課題となっている。
取組の内容	東日本大震災より、バイオマスの利用を予定した関連機関が震災の被害を受けたため、本格的な取り組みができなかった。 ①については、東北森林管理局、宮城県、東北森林農政局等が、バイオマスボイラー導入について農家にPRしたが、震災による被害の復旧を最優先とすることから、バイオマス関連については、積極的な取り組みに至らなかった。
国有林担当部局・役割	仙台森林管理署、東北森林管理局 取組事例等の情報提供
連携協働相手先・役割	宮城県、流域活性化センター
取組の結果、反響、今後の課題等	バイオマスの利用関連機関の復旧状況を把握し、取り組むこととする。
PRの実施状況及びその期待する効果	

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 59

東北森林管理局

取組名	間伐団地の設定に向けた候補地調査（継続）
流域名	宮城南部流域
森林管理署名	仙台森林管理署
実施箇所及び実施日	①川崎町小屋沢山国有林 平成23年10月12日
取組の背景及び必要性	木材生産の低コスト化を進めるため、国有林と民有林との連携による間伐団地の設定と路網整備が近年の課題となっている。そのため、当該流域内で民・国連携で取り組める間伐団地の候補地を調査する必要がある。
取組の内容	東日本大震災等により、当署の設定した共同施業団地での現地視察を中止した。 ①は、活性化センターと森林管理署の共催により川崎町で、「持続可能な森林づくり研修会」を開催し、本局計画課長から共同施業団地についての内容等を参加者に周知するとともに、事例による取り組みを紹介した。また、森林作業道等による効率的な施業についても説明した。
国有林担当部局・役割	仙台森林管理署 森林共同施業団地の情報提供
連携協働相手先・役割	県、市、町等 民有林の間伐予定箇所等の情報提供
取組の結果、反響、今後の課題等	間伐団地の設定に向けて、森林共同施業団地について積極的に取り組むとともに、森林の状況を把握し民有林・国有林が一体となった施業に努める。
PRの実施状況及びその期待する効果	森林共同施業団地についての認識は、本研修会により高められたことから、設定について推進を図る。

【参考資料】

取 組 名 間伐団地の設定に向けた候補地調査（継続）

「持続可能な森林づくり研修会」の状況



森林・林業活性化センター会長あいさつ



講義状況

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 60

東北森林管理局

取組名	森林病虫害防除対策の推進（継続）
流域名	宮城南部流域
森林管理署名	仙台森林管理署
実施箇所及び実施日	①宮城県松くい虫防除対策協議会
取組の背景及び必要性	<p>仙台署管内の松くい虫被害は海岸林を中心に内陸部まで発生している。また、平成21年度に県内での発生が確認されたナラ枯れ被害への対応が求められている。</p> <p>被害の情報収集と防除対策等は民・国連携した取組が重要である。</p>
取組の内容	<p>東日本大震災より、海岸林については、甚大な被害を受けたため、松くい虫の被害対策は実施しなかった。また、ナラ枯れの被害については調査し情報を提供した。</p> <p>今年度は震災復旧のため、民・国連携した森林病虫害防除対策についての積極的な取り組みはできなかった。</p> <p>①宮城県森林整備課主催により、宮城県庁で開催され、署長が出席。</p>
国有林担当部局・役割	<p>仙台森林管理署 国有林における被害状況等の情報提供</p>
連携協働相手先・役割	<p>宮城県、七ヶ宿町、川崎町 民有林における被害状況等の情報提供</p>
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>震災の復旧を優先したため、関係諸団体が出席する会議等を開催することが出来なかった。</p> <p>来年度以降、会議等の開催により連携した対策が必要である。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>関係機関との連携により、国有林の取り組みをPRしている。</p>